

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。
http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html

第20号は、第5期メンバーが作成する2回目のREPORTです。

私たちは、福井県とお茶の水大学が共同で作成した女性のリーダー育成プログラムである「未来きらりプログラム」を学んでいます。ディスカッション方式の講座で、メンバー同士のコミュニケーションもとれてきました。今回は、7月から9月に行われた『タイムマネジメント』講座、『マーケティング』講座、お茶の水女子大学講義『福井の特徴を活かしたリーダー像の育成』の様子をお届けします。

『タイムマネジメント』講座

平成24年7月6日(金)、未来きらりプログラム 第3回講義「タイムマネジメント」講座が行われました。講師は、一般社団法人 日本経営協会の刈本香織莉さん。

タイムマネジメントとは、効率的に時間を使うこと。そのために**論理的思考、やるべきことの整理、優先順位付けが有効**とのお話でした。その後、自分自身の生活の中で『やめる・捨てる・統合する・置き換える・簡素化する』ことで効率良く時間を使うことを考えるワークを行い、メンバーそれぞれが自分の生活を振り返り、意見交換を行いました。

ひとりの働く女性、妻そして母という顔をあわせ持つメンバーが多く、それぞれに自己流の時間の節約術があり、大変参考になりました。早速私も通勤途中の車内のBGMを音楽からラジオに変え、通勤時間をニュースや情報を得る時間にするようにしました。(担当 吉田)



自己流の時間節約術を紹介し合うメンバー達

『マーケティング』講座

平成24年8月7日(火)、未来きらりプログラム 第4回講義「マーケティング」講座が行われました。講師は、一般社団法人日本経営協会の加藤菜穂子さん。

講座の中で4グループに分かれ、グループ毎のマーケティング手法を用いたディスカッション(分析⇒特定⇒戦略)の結果発表を行いました。各グループが色々な視点、切り口でマーケティングを行っており、興味深く感じました。

『マーケティングとは、メッセージの伝達』のとおり、**私達の日常生活の中にはマーケティングメッセージがあふれている**ことに気づき、自分の周りのマーケティングについて考えてみる良い機会になりました。

10月末から始まる、観光をテーマに企画立案・プレゼンテーションを行う「仮想プロジェクト」に向けて、この講習で学んだスキルを役立てていこうと思えました。(担当 林)



グループ毎のミーティング中、講師の方のアドバイスを受ける様子

ふくい女性ネット(第5期)参加企業：ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

株式会社アイル
株式会社エイチアンドエフ
サカイオーベックス株式会社
永森建設株式会社
株式会社パケットデズ
福井県商工会連合会
学校法人福井仁愛学園
福井経編興業株式会社
松文産業株式会社

学校法人青池学園
越前町
株式会社信越マグネット
日華化学株式会社
株式会社ヒューマン・デザイン
福井県赤十字血液センター
株式会社福井新聞社
福井鋸螺株式会社
(33社、50音順)

アボットジャパン(株)勝山事業所
江守商事株式会社
株式会社SHINDO
新田塚コミュニティ株式会社
福井貨物自動車株式会社
福井県
福井信用金庫
株式会社PLANT

(株)ウララコミュニケーションズ
株式会社オムキャスト
税理士法人 たすき会
ネットヨタ福井株式会社
福井商工会議所
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
北陸電力株式会社福井支店

講義『福井の特徴を活かした女性リーダー像の育成』 —地域社会のロールモデル 形成政策に関連して—

平成 24 年 9 月 5 日（水）ユー・アイふくい（福井県生活学習館）にて、未来きらりプログラム第 5 回講義を受講しました。今回はお茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 教授の館かおる先生を講師としてお迎えし、福井の特徴を活かしたリーダー像を考えました。講義の内容を紹介します。

『福井県の女性参画の特徴』とは？

女性労働力率・共働き率 日本一 ⇔ 管理職に占める女性の割合 最下位

福井県は女性の就業割合が高く、社会進出が進んでいる一方で、女性の管理職割合（※）は、全国で最も低くなっています。

今回の講義では、この事実を焦点を当て、メンバーへのアンケート結果等も参考に、**福井県の女性参画の現状と背景について考察**しました。

※管理職の定義は、国家公務員・労働組合・各企業によって異なります。



参加者の意見に熱心に耳を傾ける館かおる教授

ふくい女性ネットメンバーへのアンケート結果から見る“福井型”女性参画の背景とは？ (2010-2012 年に館教授が行った調査結果を一部抜粋)

Q 仕事の継続を決めた時期と理由は？

第 1 位 特に意識したことがない

理由) 親の影響で、結婚しても働くことが当たり前だと思っていたので

第 2 位 成り行きで

理由) 経済的自立・収入源確保のため

Q 男女賃金格差への不満 有り 71%

【地域の産業構造が影響】

福井県の共働き率の高さ・女性の管理職率の低さには 3 つの理由が考えられます。1 つは、**女性が結婚しても働くという風潮があること**、2 つは、中小企業が多く、給与水準も低いため、**妻も働かなければ生活していけないという現実**があること。

さらに、賃金水準の低さゆえ職位が上昇しても仕事量や負担感・責任の重さの割りに賃金は上昇しない。このような背景から生まれた福井県特有の価値観・県民性が女性の働き方に関係していると言えます。

福井県の特徴的なワークライフバランス政策とは？

福井県のワークライフバランス政策

- ① **男性の家事、子育て参加支援事業**：父親子育て応援企業表彰ほか
- ② **「女性活躍」支援事業**：「ふくい女性ネット」の活動ほか

特徴的な福井県の女性参画状況を踏まえて、上記のような施策が実施されています。「男性の子育て参加支援事業」の中でも“父親子育て応援企業表彰”は、**福井県が全国で初めて導入**しました。子どもの出生時に父親が特別休暇（有給）を取得できるほか、残業時間削減の奨励を行い子育てしやすい職場環境づくりをする等の受賞企業の例がありました。そして「**ふくい女性ネット**」の活動は、女性活躍社会及び女性リーダー像育成の注目すべきモデルケースです。

福井の産業を知り、県内外のリーダーに会い、会社とは違う自分を発見し、地域の中で、自己選択していく可能性を見出すこと、そこから福井の特徴を活かした女性リーダー像が育成されて来ると考えられます。



働く女性の本音を話すメンバー

* 講義全体をとおして *

先日県外出身者と女性の働き方についてお話する機会があり、改めて本県女性の勤勉さを実感しました。ふくい女性ネットでは県外で活躍される女性との交流もありますので、そういった機会を利用して、福井で働くことに誇りを持ちたいです。

—編集後記—

今年度前半はコミュニケーション、マーケティング、キャリアなどについて学んできました。10 月からはチームを組んで「福井県の新たな観光プラン」を企画・提案する仮想プロジェクト形式の講座が始まります。メンバー同士協力し合って、スキルアップを目指します！ 2 月にはその成果をプレゼンテーションしますので、是非会場にお越しください。（井花）